

# みちよって“イクメン座談会” 松江に暮らす男性のリアルな子育て状況を調査すべく、出身地も業種もさまざまな6人のお父さんたちで座談会を開催しました。

## メンバー ①年齢②ご職業③お子さんの年齢（開催時）・性別④出身など

石原祐市郎さん	以下「石」	①46歳	②セレクトショップオーナー	③2歳	男の子	④雲南出身、広島からUターン	
奥山英徳さん	以下「奥」	①42歳	②専念寺住職・松江進学ゼミナール・お寺カフェ「まる」オーナー	③9カ月	女の子	④松江出身、東京からUターン	
鈴木健暁さん	以下「鈴」	①37歳	②子供服(Perch)・オーダースーツ(Biella)オーナー	③9歳	男の子、7歳・女の子、3歳	男の子	④大阪出身、1ターン
奈良井健悟さん	以下「奈」	①33歳	②ふるさと島根定住財団職員	③6歳	男の子	④松江出身、松江育ち	
藤田禎大さん	以下「藤」	①40歳	②フレンチレストランBistroCoeur店主	③12歳	女の子、8才男の子	④兵庫出身、1ターン	
山口友洋さん	以下「山」	①36歳	②株式会社モンスター・ラボ・エンジニア	③2歳男の子	④宮城出身、1ターン		
中澤ゆかり	以下「中」	ねえみちよって編集委員					

藤) 僕と鈴木さんは、妻が松江出身の1ターンですが、山口さんは、ご夫婦ともに島根には縁がない中で、松江にいらしてるんですね？

山) はい、東京が本社ですが、社長が島根出身なんです。松江市はITを中心とした街まちづくりを10年以上着実に続けてきているので、その中で仕事をしてみたいなと思って。視察で宍道湖を見て、街中に落ち着く風景があるのにひかれ、こちらで支社を立ち上げるプロジェクトに立候補し、家族で来ました。

中) 実際に住んでみて、どうですか？

山) 初めは多少困ることもあるかと思っていましたが、すぐに慣れました。都会のように混雑してなくて、買い物など日常生活は便利。海や山にもすぐにへ行けますね。

藤) 家から15分あればキレイな海や山に行けます。関西で海に行こうと思ったら、早朝に出て昼ごろにやっと着く。ちょっと遊んで、また何時間もかけて帰る。1日仕事で、そのほとんどが移動時間ですよ。



石原祐市郎さん

中) それがこちらでは、15分で着いちゃう。

藤) しかもキレイで、人もあんまりいてなくて、プライベートビーチかってくらい(笑)

藤) お城がすぐ近くにあって歴史をすぐそばに感じられるし、昔からの風情のあるまち並みがいいなあと。お城と言っても大阪城は中にエレベーターまでついていますからね。

山) 子どもと行けるイベントや場所も多くて、妻も友だちが増え、楽しそうにしているので安心しています。

## 僕たちイクメンで大丈夫？

中) イクメンというと、「かなり育児ができてお父さん」というイメージがありますが、実は、**子育てを楽しむ、それを通して成長している男性**のことが定義だそうです。



奈良井健悟さん

鈴) それやったら**僕もイクメンで大丈夫ですね**。あんまりイクメンっていうと、嫁さんにイラっとされそうやけど(笑)

奈) たしかに(笑)。僕は仕事の帰りが遅いことや出張も多く、奥さんや実家はかなり頼ってしまっているんで、イクメン度はまだまだ低いです。仕事帰りに少し家事をしたり、休みの日にはできるだけ子どもといるようにしてばん回しようと思ってるんですが、果たして妻からの評価は・・・。

石) いかに子育てしてる感を妻にアピールするか、他のお父さんたちに相談してみたかったんだ(笑)。**イクメン度の点数をつけたら、自己採点と奥さんの採点でかなり違ってるよね。**

藤) 家事でも育児でも、ダメ出しくらったりすると男って結構凹みますよね。

鈴) 子どもと遊んで、一緒にドロドロに汚れて帰って怒られたりね。

石) 掃除しても「ここできてないけど」みたいに言われると、もう手を出しにくくなっちゃう。お前もって俺にやる気出させろよと思いますよ(一同爆笑)

石) 子どもと成長というものもあるけど、妻とのやり取りの中でもかなり成長してると思いますよ。

藤) 男って基本、褒められて伸びるタイプやから。

鈴) うん、もっと褒めてほしい(笑)

鈴) **基本子どもと一緒にだと思って、褒めて伸ばせばもっとやれる(笑)**

石) うん、それに、だからこそ子どもの気持ちに分かることもあるのかな。

中) 特に男の子は、母親では理解しにくいところや、できない遊びもあつたりしますもんね。

鈴) だから僕たちがドロドロになって帰ってきて、怒らないでと。

中) お母さん方に誌面を通してお願いしましょう(笑)。ご主人も、褒めると伸びやすいらしいですよー！！



藤田禎大さん

## 子どもを持って人生観変わる？

中) お子さんが生まれて、変化したことは？

鈴) 人が人を必要とする意味が分かるようになりました。いろいろな角度から自分や相手のことを見られるようになったと思います。

石) 子どもと生活していると、食事やお風呂など生活が規則正しくなりましたね。

**自分の小さいころのことを思い出すことが増えて、両親への感謝の気持ちが深くなりました。**

奥) 仕事の責任上、完全に育休とはいきませんが、かなり仕事の時間を縮小して、子ども中心の生活を楽しみ、授乳以外は全てやっています。

石) そこまでできるのは、“修行”の末そうなられたんですかねえ。

奥) 実は僕は、自分の時間がなくなるから、結婚もしたくないし、子どもはなるべくほしくないというタイプの人間だったんです。でも今考えるとそれは他人からもらった価値観だったのかなと思います。

**松江を一度離れてみて、この環境が当たり前なものではないと気づきました。**

自分の生まれ育った故郷で子育てできることに感謝しています。



NEXT PAGE